

救助隊自主沢登り・レスキュー訓練（4月度の報告）



1. 日時 2014年4月19日～20日

2. 場所 丹沢・モミソ沢、懸垂岩

3. メンバー 12名（東葛）吉田副隊長、（船山）関口副隊長、
（岳樺）徳永副隊長・古畑（記録）、（ちば山）神山副隊長・渡辺（理）・住田（記録）・岩元、

（松戸）今村・小林、（こまくさ）角掛、（まつど遠足）西村

4. 内容

（1）4/19（土）沢登り訓練

9:00 モミソ入渓点手前広場集合～10:00 モミソ沢入渓
（沢トレ開始）～12:30 大滝終了点折り返し～15:30 下山
～16:00 林道終点駐車場にてテント泊（反省会）

[訓練内容]

- ・ 沢遡行（歩行技術、お助け紐、フィックスロープ）
- ・ 沢下降（クライムダウン、支点工作、懸垂下降）

（2）4/20（日）レスキュー訓練

9:30 モミソ入渓点手前広場～10:00 モミソ懸垂岩（訓練
開始）～14:00 訓練終了

[訓練内容]

- ・ レスキューデバイス（ストップ等）を使った懸垂下降と登り返し
- ・ 懸垂下降スタンダード
- ・ 懸垂下降からの登り返し（切り替え方法）
- ・ 引き揚げシステム（1/3, 1/5）
- ・ ATC（ルベルソ）によるフォロー確保応用（ビナ2枚使い）





スタティックロープでの登り返し
(ストップ、ベーシック等)



レスキューデイ (ストップ)

5. 隊員感想

実際に使う機会があまりないスタティックスロープやレスキューデバイスでの訓練も我々救助隊の課題となっている第三次捜索活動に繋がる。隊員各自が積極的にトレーニングをできたことや自分のツールと救助隊装備との相性・使い勝手などの確認もできとても有意義でした。また、引き上げシステムでは、プーリーの効果を実感した。2年ぶりの沢登りと登攀訓練でしたが、モミソ沢と懸垂岩とも初級?コースで、比較的安心して訓練できました。沢下りも含め、実践的でよかったと思います。人やヒルも少なく、場所としても、また時間配分も適切だったと思いました。

まだまだ反復訓練が必要だと痛感しました。そして、訓練終了後のキャンプ・懇親会では、贅沢な焚火と持ち寄った酒の肴などどれもおいしく・絶品でした。

6. 総括：吉田副隊長

救助隊4月訓練は、基本的なロープワークからレスキュー機器の取り扱いをテーマに行いました。今年の2月関東ブロックが千葉主管の為、去年は準備などで忙しくこのような訓練がなかなか行えなかったのが、隊員の足並みをそろえる意味でも行えて有意義だった。

初日のモミソ沢の遡行及び下降の際に確保や懸垂下降を多く取り入れた。隊員全員沢は1年ぶりなので程よく緊張感もあって良かったと思います。2日目懸垂岩での訓練も参加メンバー全員が同じ訓練を全てこなせた事が良かったと思います。

2日間通しての反省点は、まだまだ訓練時間が足りないと感じました。やはり、1年数回では身につかないので各自でも机上学習や現地で繰り返しの訓練が大事だと考えます。

今年は、もう一步踏み込み県内の山の遭難を想定した総合演習を試みたいと救助隊では企画中です。また、チームワークの良い救助隊の仲間なので、今後とも学習会を重ねながら、各自が力をつけていきたいと思っています。

『救助隊は、いつでも隊員募集中です。レスキュー訓練（ロープワーク、救急法、搬送法）など興味のある方、是非入隊して一緒に活動しましょう！

経験がなくても大丈夫です』

以上